

計画事業番号	00420	事務事業名	森林保全活用事業	担当部署	建設部都市整備課	電話	778
--------	-------	-------	----------	------	----------	----	-----

## 【基本情報】

事務区分	■自治事務 □法定受託事務		根拠法令等	森林・林業基本法第6条・第9条、森林法第10条の5・7			
事務事業開始年度	平成11年度		個別計画等	北広島市森林経営計画			
〃 終了予定年度							
ソフト・ハード区分	ソフト事業	会計区分	一般会計	補助単独区分	補助	新規継続区分	継続

## 【事業概要】

1 総合計画体系	(第 3 章) 美しい環境につつまれた安全なまち	
	(第 3 節) 水と緑の空間の充実	
	(施策 1 ) 緑化の推進	
2 対象		
3 目的と内容	<p>仁別、三島地区の水源かん養保安林(566ha)の林野火災への対応や森林管理を行うため、三別沢林道を補修し、森林の保全に努める(主体:北海道)。</p> <p>その他の市有林については、生活環境の保全や山地災害防止など森林が持つ多面的機能が十分発揮できるよう、森林施業計画に基づく除伐や下刈りなどを実施するとともに、森林ボランティアなど市民との協働により森林整備を推進する。</p>	
4 実施内容(手段)	27年度まで	<p>(1)三別沢林道改良工事(負担金) 延長1,000m</p> <p>(2)北広島団地周辺緑地の樹木整備 7.53ha</p> <p>(3)富ヶ岡市有林の下草刈り 1.59ha</p> <p>(4)森林ボランティア等に対する森林整備活動支援</p> <p>(5)市有林の巡視</p>
	28年度	<p>(1)三別沢林道改良工事(負担金) 延長489.5m</p> <p>(2)仁別市有林の樹木整備 5.76ha</p> <p>(3)富ヶ岡市有林の下草刈り 1.59ha</p> <p>(4)森林ボランティア等に対する森林整備活動支援</p> <p>(5)市有林の巡視</p>

## 【事業の計画・実績】

平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
計画	実績	計画	計画	計画	計画	計画	計画
三別沢林道改良工事 L=1,000m 北広島団地周辺緑地樹木管理委託 7.53ha 富ヶ岡市有林下刈委託 1.59ha 管理道路修繕 L=100m 森林ボランティア等による森林整備活動支援等	三別沢林道改良工事 L=1,068m 北広島団地周辺緑地樹木管理委託 7.53ha 富ヶ岡市有林下刈委託 1.59ha 管理道路修繕 L=100m 森林ボランティア等による森林整備活動支援等	三別沢林道改良工事 L=489.5m 仁別市有林樹木管理委託 5.76ha 富ヶ岡市有林下刈委託 1.59ha 管理道路修繕 L=100m 森林ボランティア等による森林整備活動支援等	三別沢林道改良工事 L=489.5m 島松市有林樹木管理委託 1.40ha 富ヶ岡市有林下刈委託 1.59ha 森林ボランティア等による森林整備活動支援等	三別沢林道改良工事 L=489.5m 島松市有林樹木管理委託 1.40ha 富ヶ岡市有林下刈委託 1.59ha 森林ボランティア等による森林整備活動支援等	三別沢林道改良工事 L=489.5m 島松市有林樹木管理委託 1.40ha 富ヶ岡市有林下刈委託 1.59ha 森林ボランティア等による森林整備活動支援等	市有林樹木管理委託 5.00ha 富ヶ岡市有林下刈委託 1.59ha 森林ボランティア等による森林整備活動支援等	市有林樹木管理委託 5.00ha 富ヶ岡市有林下刈委託 1.59ha 森林ボランティア等による森林整備活動支援等

## 【評価結果・評価コメント】

総合判定		平成29年度に向けた具体的な方向性		評価区分
前年度 2次評価	現状継続	現状継続とする。		「拡大」 「現状継続」 「要検討」 「見直し」 「統合」 「休止・廃止」 「終了」
1次評価	現状継続	森林保全については、森林の持つ多面的・公益的な機能が確保されるように、今後も市有林の保全・整備を森林施業計画に基づき進める。		
2次評価	現状継続	現状継続とする。		

【事業費の推移】

(単位:千円)

			平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
決算額、当初予算額又は推進計画額			10,361	11,024	12,007	3,833
事業額	直接事業費	国支出金	0	0	0	0
		道支出金	996	1,584	2,192	2,142
		地方債	6,600	7,200	7,200	0
		その他特財	3	3	2	2
		一般財源	2,762	2,237	2,613	1,689
	① 合計		10,361	11,024	12,007	3,833
	人件費	② 人数(年間)	0.60	0.60	0.60	0.60
		③ 1人当り年間平均人件費	9,000	9,000	9,000	9,000
		④ =②×③	5,400	5,400	5,400	5,400
		総事業費①+④		15,761	16,424	17,407

【評価指標】

指標名		単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
活動指標	① 仁別・三島市有林 北海道による治山事業実施面積 (H23年度以降は植栽箇所等の保育)	目標値	34.86	34.86	34.86	34.86
		実績値	34.86			
	② 団地周辺緑地森林整備 (H28年度以降市有林整備)	目標値	7.53	5.2	7.02	1.59
		実績値	7.53			
③ 市民ボランティア等による整備	目標値	2	2	2	2	
	実績値	2				
④ 三別沢林道改良工事	目標値	m	1000	489.5	489.5	0
	実績値		1068			
成果指標	① 三別沢林道改良工事進捗率 (H27までの実績) ÷ 総延長6.7km	目標値	100.0	100.0	100.0	100
		実績値	85.0			
	② 【指標の定義(算式等)】	目標値				
		実績値				
③ 【指標の定義(算式等)】	目標値					
	実績値					

【評価項目】

チェック項目	評点	コメント
妥当性 ・税金を使って行うこと(補助すること)が妥当ですか？ ・上位の施策への貢献度は大きいですか？ ・特定の団体の利益に偏っていませんか？ 【評点欄】3妥当、2どちらかという妥当、1妥当でない 【コメント欄】理由を記入	3	森林の持つ多面的、公益的な機能を発揮するため必要な事業である。
達成度 ・計画どおりに成果があがっていますか？ 【評点欄】3あがっている、2どちらかといえばあがっている、1あがっていない 【コメント欄】理由を記入	3	仁別三島地区の保安林については、北海道による治山事業実施箇所の維持管理や三別沢林道改良工事の実施により整備が進んでいる。その他の市有林については、森林ボランティア等による整備を実施しているため、計画どおり成果があがっている。
成果向上 ・成果が現状よりも向上する可能性がありますか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】成果を向上させるための方策、代替策を記入	3	緑豊かな自然環境を保全するために必要な事業を実施している。
経済性 ・現在の成果を落とさずにコスト(予算・所要時間等)を削減するための方法はありませんか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】コストを削減するための方策、補助金の減額・削減について具体的に検討し、検討内容を具体的に記入	3	治山事業は道営のため、治山事業に対する市の財政的負担はない。市が加盟する北海道治山協会負担金(市農政課加入)のみの支出である。(事業費の2.3/1000、限度額700千円) 其他は、ボランティアの活動を支えるための最低限の予算であり、費用対効果は十分と言える。

【法律で実施が義務付けられている事務事業か】

法律の義務付けあり

法律の義務付けなし

【民間活力の活用性評価】  
(事業担当部局が評価)

民間等での実施または市民等との協働が可能である。

民間等での実施または市民等との協働の可能性はない。